



パラリンピック・リベリア選手団 とのオンライン交流会

パラリンピックに出場したリベリア選手団やスタッフの皆さん、にかほ市内の小・中学校、高等学校の皆さんの総勢450人で9月2日（木）にオンライン交流会を行いました。

手芸班は、班長の三浦大幹さんが「We made Aduma-bukuro」と英語で話し、あづま袋の作り方や使い方を日本語で紹介しました。選手団の皆さんは、大幹さんの説明を聞きながら早速あづま袋を開いて、にかほ市民の方からのプレゼントを見ていました。リベリアに帰ってからも手芸班が心を込めて作ったあづま袋を使って欲しいと思います。



画面上でも分かるほど、たくさんの方がオンライン交流会に参加しました。



リベリアの選手の練習風景も写真で紹介されました。みんな真剣な表情で見っていました。



オンライン交流会前の様子。みんなちょっと緊張気味です。



スポーツ振興課から頂いた、リベリアの小旗を振って大盛り上がりでした。